

令和元年10月13日(日)
関東地方整備局

記者発表資料

令和元年 台風19号における
八ッ場ダムの試験湛水状況について

- 現在、八ッ場ダムにおいては、ダムの本格的な運用を始める前に、実際に水を貯めてダム堤体および貯水池周辺の安全性を確認するため、試験湛水を実施しているところです。
- 台風19号の影響により、長野原観測所では累加347mm^{*1}の降雨を観測しました。 ※1:10月11日2時～13日5時(時間最大37mm 12日18時)
- この降雨により、八ッ場ダムにおいては、総貯留量約7,500万m³、最大流入量約2,500m³/sを貯め込み、ダムの貯水池は518.8mから573.2mまで、約54m^{*2}水位が上昇しました。 ※2:10月11日2時～13日5時
- 今回のダムへの流入水を貯留したことにより、まもなく平常時最高貯水位(常時満水位)まで到達する見込みとなっております。
このため、今後は水位維持の操作に移行いたします。
※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、刀水クラブ・テレビ記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局

河川部 河川情報管理官 ふじた ただし 藤田 正

電話 048-600-1335 (直通) FAX 048-600-1378

八ッ場ダム工事事務所 かんたつ かずあき 副所長 神達 和明

電話 0279-82-2311 (代表) FAX 0279-82-4064

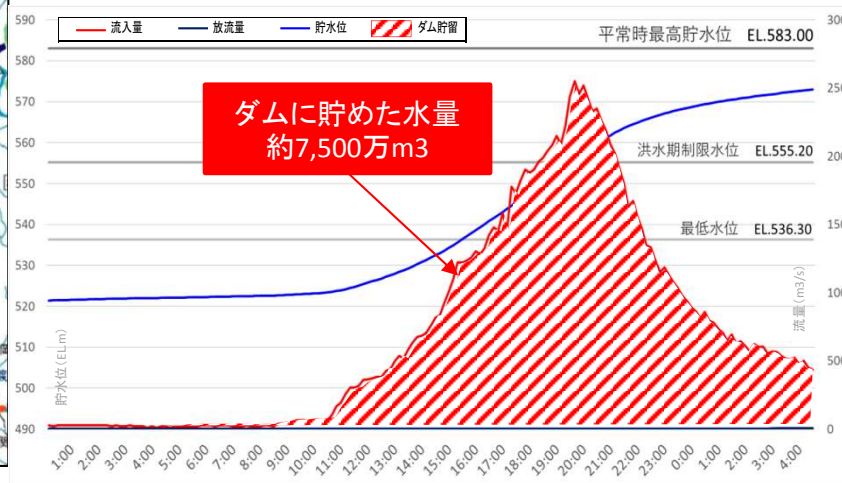
令和元年 台風19号におけるハッ場ダムの試験湛水状況について

今回の洪水(台風19号)により試験湛水のため貯留を開始していた、ハッ場ダムの貯水位が平常時最高貯水位583.0mに対し、573.2mまで上昇しました。

(台風19号)は10月11日2時から10月13日5時にかけて長野原観測所では累加347mm、時間最大雨量37mm(12日18時)の大雨をもたらしました。この降雨に伴いハッ場ダムの貯水位は518.8mから573.2mまで、約54m水位が上昇しました。ハッ場ダムでは流入量(最大流入量約2,500m³)の約100%をダムで貯留。



ハッ場ダムの洪水貯留状況



最大流入時のハッ場ダム



貯留状況写真



10月12日 9:00(EL.522.7m) 状況写真



10月13日 6:00(EL.573.9m) 状況写真